

登録コード	ASB00500	開講年度	2026			
授業科目	基礎生命機能科学特論				担当教員	大神田 淳子
英文授業名	Lecture in Life Science and Biotechnology				副担当	細見 昭
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生
講義室	農学部 1 2 番講義室		授業形態	講義	備考	1年次生
信大コンベンション該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ					
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。	
授業の概要	1. プレゼンテーション技術 (日本語) 2. プレゼンテーション技術 (英語) 3. クリティカルシンキング 4. 最新の化学生物学の論文抄録発表会					
Contents:	In this course, we will learn how biology can be translated into chemical terms. Upon fundamental understanding of biological machinery at molecular level, we are able to design artificial molecules to control natural systems. These technologies in the field of chemical biology have advanced recent medical sciences and our understanding of biological systems. We will particularly focus on protein functions in cells, analyzing recent cutting-edge scientific papers, and discuss in depth of their ideas, working hypothesis, strategies, and how to present the experimental results. Assignments include reading and analyzing a short paper, and a presentation of the summary of the paper. Students are strongly encouraged to participate into active discussions in the class room. Primary language in this course is Japanese.					
授業計画	4/14 初回_細見、大神田 (3限) 4/21 プレゼン_細見 (3,4限) 5/12 Presentation in English 1_大神田 (3,4限) 5/19 Presentation in English 2_大神田 (3,4限) 5/26 クリティカルシンキング_細見 (3,4限) 6/16 論文抄録会_大神田, 細見 (3,4,5限)					
成績評価の方法	(1) 授業の態度 (討論における質疑応答など) (2) 課題レポート (授業中に自身の研究テーマと関連した生命機能科学の査読制度がある最新 (最近 5 年以内) の英文学術論文を要約するなど) 上記の 2 つを総合評価する (100 点満点) 。 60 点以上を合格とする。 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 59 以下					
成績評価の基準	論理的に整理された発表内容 議論への積極的かつ建設的な参加姿勢					
事前事後学習の内容	各回の授業担当教員から指示する。					
履修上の注意	特になし					
質問, 相談への対応	講義終了後やオフィスアワー等で随時受け付ける。					
学生へのメッセージ	受講者は建設的な議論への積極的な参画が求められる。					
【教科書】	なし					
【参考書】	教員作成の資料を配布します。					